

別紙

三井化学株式会社岩国大竹工場 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三井化学株式会社 岩国大竹工場

(2) 事業所の所在地

山口県玖珂郡和木町和木六丁目1番2号 (山口県分も含む)

(3) 業種

1631 石油化学系基礎製品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成28(2016)年度を基準年度とし、平成29(2017)年度から令和元(2019)年度までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー 起源CO ₂			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量												
実績に対する 自己評価												

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：エチレン換算生産量(t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
		平成31年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 年度	令和 年度
エネルギー 起源CO ₂	2.68	2.60	-3.0	2.57	2.42	2.38		
				4.0	9.7	11.3	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂	0.05076	0.05076	0.0	0.04865	0.04350	0.04989		
				4.2	14.3	1.7	100.0	100.0
メタン	0.00289	0.00289	0.0	0.00265	0.00250	0.00288		
				8.4	13.3	0.2	100.0	100.0
一酸化二窒素	0.00132	0.00132	0.0	0.00134	0.00139	0.00127		
				-1.9	-5.7	3.5	100.0	100.0
その他 温室効果ガス	0.00100	0.00100	0.0	0.00090	0.00149	0.00097		
				9.9	-48.7	3.5	100.0	100.0
温室効果ガス 排出量総計	2.74	2.65	-3.3	2.63	2.47	2.43		
				4.1	9.9	11.2	100.0	100.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 k)	0.9985	0.9686	-3.0	0.9582	0.9098	0.9253		
				4.0	8.9	7.3	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	各設備の省エネを計画通り実施。生産量増加も影響し、エネルギー消費原単位を基準年度比で改善した。							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

項目	削減量等	具体的な取組み
1 燃料削減	平成29年度 1 3 4 0 k l 令和元年度 2 8 0 k l *原油換算	・余剰副生ガス燃焼率UP ・製造プロセス最適化 ・ボイラー排ガス熱損失削減
2 蒸気・電気削減	平成29年度 4 1 3 k l 平成30年度 3 1 1 2 k l 令和元年度 1 5 0 2 k l *原油換算	・廃熱の有効利用 ・製造プロセスの最適化 ・ファーンエス能力の改善 ・漏洩蒸気の削減 ・発電機熱落差最大化
3		
4		

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

種類	合計量
1	
2	
3	

○ その他の取組み

項目	削減量等	具体的な取組み
1 事務所電気使用量削減		・冷暖房温度の適正管理 ・昼休憩時の消灯の徹底
2 廃棄物排出量削減	廃棄物埋立率 平成29年度 0. 0 5 % 平成30年度 0. 0 8 % 令和元年度 0. 0 7 % *目標0. 1 5 %以下	・3Rによる廃棄物削減 ・分別収集の徹底
3 その他		・工場周辺地域清掃活動の実施

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。